

## 那珂市議会 議会運営委員会記録

開催日時 平成30年2月20日（月）午前10時

開催場所 那珂市議会第2委員会室

出席委員 委員長 君嶋 寿男 副委員長 萩谷 俊行  
委員 寺門 厚 委員 綿引 孝光  
委員 木野 広宣 委員 勝村 晃夫

職務のため出席した者の職氏名

副議長 遠藤 実 事務局長 寺山 修一  
次長 清水 貴 次長補佐 横山 明子

会議に付した事件と概要

(1) 次回の議会報告会について

…開催概要について決定

議事の経過（出席者の発言内容は以下のとおり）

開会（午前10時00分）

委員長 皆さんおはようございます。

昨日の特別委員会に続きまして、本日は議会運営委員会に委員の皆様方にご出席いただきまして誠にご苦労さまです。

本日は1月30日に行われました勉強会の意見を今日まとめさせていただきまして、次年度の議会報告会の方向づけをさせていただきたいと思っております。委員の皆様方の活発なご意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

では早速、議会運営委員会を開催いたします。

ただいまの出席委員は6名であります。

欠席委員はおりませんので、これより議会運営委員会を開会いたします。

職務のため、副議長及び議会事務局職員が出席をしております。

本来ならばここで中崎議長よりご挨拶をいただくとありますが、本日公務がありまして、欠席ということですので、これより議事に入ります。

では早速（1）次回の議会報告会についてということで、議題といたします。

昨年からは議会報告会のスタイルを変えてみようということで調査、研修会なども開き、先月には議員勉強会の中でも、議会全体での議会報告会のあり方について検討する機会を持ちました。

本日の議運は、その最終段階ということになります。勉強会で出た各班の意見をもとに、次回の議会報告会のスタイルについてまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

まずここで事務局から本日の配付資料の説明をお願いいたします。

次長補佐 それでは今日お配りしました資料について確認をさせていただきます。

まず次回の議会報告会についてという1枚の紙でグループ討議のまとめシートというものでございます。

こちらは前回の議員勉強会の際にこのような内容について、皆さんで話し合ってくださいましたので、そこで出た意見を踏まえて、今日こちらのほうを大体決めていただくような形でお願いしたいと思います。

それから、第2回の議員勉強会のグループ討議シートということで、こちらは1班から3班まで出た意見を簡単にまとめたものでございます。

すみません。2班の一番下の下から2行目のところで、広聴広報委員会なんですが、ちょっと変換ミスがありまして、広報に直していただければと思います。よろしくお願ひします。

もう1つの資料が、先日ホワイトボードに各班で書いていただいたものをそのまま写真に撮ったものプリントしております。

各班のグループ討議シートのほうをちょっと見ていただきたいんですが、まず共通している部分と、班ごとに異なっている部分がそれぞれあるんですけども、まず意見交換については、グループに分けた座談会方式というものが、皆さんから出ていた意見かと思ひます。

それでテーマの設定とグループ分けの方法につきましては、各班それぞれご意見が出ておりますので、その辺を協議していただきたいと思ひます。

それから②番の議会報告については、どの班もなるべく報告の部分を短くして、意見交換の時間にあててはどうかというご意見でございました。

それから、③番の報告会のネーミングについて、こちらは各班いろいろなご意見が出ておりますので、こちらもご検討いただければと思ひます。

それから④番の開催時期、時間、会場についてでございますが、こちらは10月ごろと5月下旬、それから3班のほうでは、各委員会でそれぞれ実施してはどうかということで、委員会のスケジュールによって年二、三回開催してはどうかという案でございます。

それから、イベントとあわせてやってはどうかという意見、それから2班では、土曜の午前と夜と2部制にしてはどうかというような意見も出ております。

それから、⑤番の報告会の実施主体についてでございますが、こちらは広報広聴委員会あるいは広聴広報委員会、どちらも言い方はあると思ひんですが、そちらをつくって、そこが主体になってはどうかというご意見、それから議会報告会のための何か組織をつくってやってはどうかというようなご意見もございました。

詳しくはこちらのホワイトボードの写真のほうに載っておりますので、参考にさせていただきまして、ご検討をお願いいたします。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

それではシートに従いまして次回の議会報告会について、実施案を決めていきたいと思  
います。

先ほどグループ討議まとめシートということで、①から⑤までありますので、その一つ  
一つを皆さんの意見をいただきながらまとめていきたいと思しますので、よろしくお願  
いをいたします。

ではまず初めに、市民の意見交換についてということで、ここについては座談会方式、  
ワールドカフェなどということを書いてありますけれども、今回の勉強会では、1班から  
3班まで議運のメンバー、各2名ずつ入っていただいておりますので、その点も皆さんの  
雰囲気等もわかっているかと思いますから、それを踏まえながらご意見をいただきたいと  
思います。

ではよろしくお願いたします。

では座談会方式、ワールドカフェということで、この意見等ではやはり1班からそのと  
きの担当の方、内容等ちょっと説明いただければと思します。

勝村委員 1班のほうは、座談会方式がいいだろうということです。座談会方式でお茶とか、  
那珂市の認定のお菓子を皆さんにお配りして。

これずっといっちゃっていいの。

委員会 いやいや、そこの部分だけ。

勝村委員 そこだけね、じゃ座談会方式がいいだろうということです。

委員長 これについてはグループ分けということですから、何班、何名ぐらいですか。

勝村委員 グループを分ける場合にはやっぱり4つぐらいで分けないと、3つでは、お客さん  
の数によっては議員のほうが多くなってしまふという懸念も出てきますので、やっぱり4  
つぐらいで。

委員長 わかりました。

1班については座談会方式を行ってはどうかということで、内容についてはやはりグル  
ープ分けを4班ぐらいに、参加人数に合わせて4班ぐらいということで、あと内容として  
はお茶等を出しながらということですね。

2班についてお願いたします。

寺門委員 2班について報告します。

2班については全員の方からグループ別で座談会形式がいいでしょうということで、ご  
意見をいただきました。ほかの方式は出ませんでしたので、座談会方式ですね。

あとやっぱり話しやすくするために、お茶を飲みながら進めたほうがいいよねという  
話で、コーヒー、お茶、お菓子を用意して、和やかな雰囲気ですらったほうがいいですよ  
ねという意見でございます。

グループのメンバー数、何人ぐらいずつがいいのかということについては特に意見はな

かったんですが、やっぱりその当日に来られる人数に応じて、やっぱり4ないし6班。

あまり議会側が多くても困っちゃうんで、3だとちょっと少ないよねっていうことだと思います。

以上です。

委員長 2班についても座談会方式ということで、グループ分けをしながらお茶等を飲み、そしてまた、参加人数によって班の編成も変わるということによろしいですね。

では3班お願いいたします。

木野委員 3班は皆さんと同じように、座談会方式という形式が出ました。

ただ、グループ分けについては、まだその辺は出てなくて、まず形式、今までのやっぱりパターンから変えようということで、その座談会形式がやっぱり皆さん意見が出しやすいんじゃないかっていうことで出ました。ですからどういうふうにグループ分けとかという部分ではまだその時はでていなかったです。

以上です。

委員長 ありがとうございます。

1班から3班まで、皆さんの意見ということでやはり座談会方式ということが、一番多いということですので、意見交換のやり方については座談会方式を実施するということがよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

委員長 では座談会方式をしながら、あとは班に分けて、その中で和やかな雰囲気でもっていききたいという話で、行いたいと思います。

では続きまして、その中のテーマの設定ということで……

副委員長 ちょっとお茶とお菓子という意見もありましたけど。

委員長 そういうことも一応検討しながら、和やかな雰囲気ということで。

続きましてテーマの設定について、もう一度ご意見を1班からたいへんでも確認をさせていただきますながらお願いいたします。

勝村委員 1班のほうは、テーマは4つとか5つとかにグループを分けても、すべて同じテーマでやったほうがいいんじゃないかと。というのは、このテーマがいいよというのは、偏ってしまうんじゃないかということがありますので、全部のグループが同じテーマでやったほうがいいのではないかとということでした。

委員長 1班については、テーマについては、どの班も同じテーマを課題として話し合うというような形ですね。

では2班お願いいたします。

寺門委員 2班は、大きなテーマに絞って、例えば農業活性化、子育て支援、防災のあり方等々、空き家問題、高齢者福祉など、前半はこの大きなテーマに沿って話し合いをします。

後半については、ランダムに出席された方々と議員も含めて、自由に市民の方から意見

を述べてもらうという2部構成のほうがいいんじゃないかなということです。

この場合グループ分けについては、テーマごとでしたほうがいいのかという意見が出ました。各グループの進行記録について、まとめも議員が行うということでございます。

以上です。

委員長 2班についてはテーマを絞って話し合うということで、そのテーマについてはグループ分けごとにテーマが変わるということで、前半を行い、後半についてはランダムでの2部構成ということです。

はい、では3班お願いいたします。

木野委員 3班の場合には、そういう意見も出てたんですけども、逆に年1回の、結局4番にも絡んでくる部分なんですけども、各委員会ごとにやっぱりテーマを決めて、年二、三回やったほうがいいんじゃないかと。

要するにもう教育だったらば、子育て支援とか教育全般に関してかなりいろんなテーマができるので、やっぱりそれは委員会のほうがいいんじゃないかと。

また、産業建設に関しては、下水道の件とかそういったものもあるので、できればその委員会で調査事項やっていることがたくさんありますので、そういった意味で委員会に合わせてやったほうがいいのかということで1番と4番が大体同じ内容。

それ以外に、今まで司会の方が必ず今回は議会報告会ですから、個人の意見ではないみたいない部分があったものですから、でも結局最終的にやっぱり答弁しているのは、自分の意見も結構いっぱい言ってる方もいらっしゃるんで、そういったことを考えるとそういう形式を入れなくて、議員も自分の意見を言ってもいいんじゃないかということで、そうするとテーマに沿っていろんな内容も、議会だけではなく個人の意見も言えるので、違うんじゃないかっていう意見が出ました。

以上です。

委員長 3班については各委員会でテーマを決めて行うということと、あとは議員に対しても、議員も自分の意見を持って、その担当の委員会での意見交換をすべきではないかという話が出ましたけど、そうすると、ここのテーマの設定ということになりますと、1班はすべて同じテーマということで決めて行う、2班については大きなテーマに絞って話し合うということですけども、3班は各委員会にお任せしてその委員会での調査事項等についてのテーマを決めて行うということです。

その点についてどのような方法がよろしいか。一応3つ、皆さんの意見をいただきましたけれども。

綿引委員 このテーマの設定とグループの分け方というのは、同時進行で検討したほうがいいんじゃないかと思うんですね。

例えばグループ分けはするんだけど、各グループで同じテーマを検討するというのと、グループごとに別のテーマを設定する。

そうすると、グループごとにテーマを分けちゃうと、うちの班でもそういう話が出たんだけど、興味のあるテーマとそうじゃないテーマで、参加人数が割れちゃったら、これもどうするんだっていう騒ぎがあって、テーマの設定とグループ分けの方法って微妙に絡むと思うんで、そこら辺はやっぱり並行して検討したほうがいいのか。

委員長 今、綿引委員からテーマの設定とグループ分けの方法、グループ分けとなれば、各委員会にすれば、委員会が中心になってグループで、調査事項等について、分けて話し合うということができると思うんですけど、あとは興味のあるテーマと興味がないテーマで分かれちゃうと、人のあれもばらばらになってしまうんじゃないかという懸念ですね。

ですから1班は、同じテーマで各班分けてやってはどうかという話ですけど、どうですか、この辺について皆さんの意見でちょっとまとめたいと思いますけど。

寺門委員 ちょっと気がついたのは、市民の方が一番関心のあるテーマがいいと思うんですが、それが何なのかというのが、まだはっきりはしてないんですけども、あとは委員会別ということになると、もうちょっと細かな、より具体的な話題で、これはこれで市民にとっては食いつきやすいのかなという気がするんですけど、ちょっと余り具体的過ぎて、委員会別でいうとその参加者が微妙に多い少ないがやっぱり出てくるじゃないかということで、最初は大きなテーマで、より市民の方が参加しやすいというようなことでやってみて、その次の段階でステップアップということで各委員会ベースでどうかなという順序を踏んだほうが良いような気がするんですけど。私はそうに思うんですが、いかがですかね。

委員長 今寺門委員からは、やはり市民の関心あるテーマを中心にとということでひとつまとめたテーマで、懇談をしていただく。その後に各委員会でのテーマをもとに、懇談会をやっていただくというような二段構えのような形になるかと思うんですけど。そういう話が出ましたけど。

副議長 これも議論の一つとしての選択肢として話をしておこうと思うのは、例えば1つのテーマだけ、今日は1つのテーマだけですよというふうにやると、テーマをどうするかっていう部分もなかなかね。

1つのテーマだけに絞ると、そもそも来場者の方にはまるかどうかっていうのが、当たり外れも結構あるかなっていう気もして、例えば、仮にその両方の間をとるのがワールドカフェだと思うんですが、例えばその3常任委員会があって、私は2班だったんですが、例えば大きいテーマは3つ、今日は話しますと。

農業活性化と子育てと防災、その3常任委員会のそれぞれ1つのテーマを割り振って、最初に3つグループにはもうランダムに分かれてもらうんですけど、前半30分たったらば、その中の2分、3分の1は動きましょうよと。

A班からB班、B班からC班、C班からA班に3分の1ずつは動く。A班は農業だけ話す、B班は子育てだけ、C班は防災だけって、そういうふうな。

あと30分たったらまたちょっとずつずらす。となると来た方は3テーマとも話し合いができて、一応その当たり外れもないと。固定化はされない。

ですから、3つのテーマについて市民の皆さんから意見は聞けると。それぞれ来た人も当たり外れがないというふうなのがワールドカフェスタイルなので、そういうのも一番ありかなと。

ただやったことがないから、これ福祉の業界ではよくある、社協とか福祉系ではよくあるんですが、そこらを考えているのはワールドカフェスタイルだと思うので、そういうのもひとつありかなっていう、ひとつの提案ですね。

委員長 今回の副議長の意見については、座談会方式の中でもワールドカフェ的なものということで、3つのテーマをつくって3班に分けて、そこを時間的に何分間ごとにとかというところで移動させて自由に討論するということですね。

そういうやり方で、そうすると3つの班だとすれば各常任委員会の一つ一つのテーマも決められるだろうということですよ。

ほかにありませんか。

綿引委員 今回の方式は、リーダーというか委員さんは動かない、来場者だけがぐるぐる回って。

副議長 それも決め方として、委員も動いてもいいと思いますが、ただ委員が全部がら動くといいよりも、このAテーブルのほうは、正副委員長だけは、いて、あとそれぞれBもCも正副委員長だけはもう固定していて、あと議員も動くし、市民も動くっていうふうなほうがいいと思うんですね。

ただ、うまく割り振れるかどうかわからないけど、全く動かない議員も全く動かない市民もいるとは思いますが、ただ基本的には恐らく3分の1ぐらいずつは動きましようねぐらいの割り振りをこれは入ってきたときにもう番号札をお渡しするとか、何か引いてもらうかして、私は何番だというふうなのを固定しておけば、何番と何番の人動きましようねみたいな、前もって運用を決めちゃえば、あとは自動的にやるだけなので、そこらは運用上ですけど、考えとして当たり外れがないように満遍なく話し合いができるようにさせるスタイルですよっていう意味ですね。

副委員長 ちょっとお聞きしたいんですが、その場合常任委員会の人らがテーマごとにまず最初入るわけですよ。当然ね。でも、常任委員会が担当外のところに行っちゃってもいいという考えだということですね。正副以外は。

副議長 もし議員は固定するという考えならそれでもいいし。

副委員長 これもいろいろ考え方あるでしょうけど、専門分野なんだから、動いちゃってもおかしいかなという気もするしね。これは皆さんの意見で決めていけばいいわけだから。やり方としてはそれ以外にもいろいろありますね。

副議長 副委員長おっしゃったとおり、やっぱり各常任委員会として市民の意見をたくさん聞きたいのであれば、議員は動かないで、市民の方だけ恐縮ですが、ちょっと動いていただ

いて、いろいろと意見を聞かせていただくと、それもありですよ。

副委員長 それをやるか、また別な形でグループ分けして全部ばらばらにやるかね。

委員長 ちょっとまとめさせていただきます。

そうすると、やはり副議長が言ったのは、グループ分けということも一体になると各常任委員会を中心に3つなら3つに分けて、テーマもその中のテーマを含めて話し合いをしていただくと。

ただ、その参加者については、その1つにこだわらず、ランダムに動いていただくというような形でいろんな意見を聞くというような流れをつくってはどうかということですよ。

そうすると先ほど出た1つのテーマに絞って座談会方式で行うということと、やはりテーマは1つに絞ってそのあとの前半後半と2つに分けてやるという、あと今副議長からも出た、綿引委員からも話が出た、グループ分け班を全部決めて、その中でテーマも決めて、各常任委員会方式でやるという3つなんですけど、どのようなものが一番いいですかね。

各班ばらばらですが。

勝村委員 委員会ごとにする、3つしかないよね。グループがね。正副委員長そこにいてということになると。3つで。そこがあるよね。

1班のほうで、全グループ同じテーマでっていうのは、全然1つのテーマじゃないよって。例えば3つなら3つのテーマを例えば1時間30分のグループでやる場合には、3つのテーマがあってもいいわけ。30分、30分、30分で。同じテーマでっていうのはそういう意味ね。

たった1つこれだけのテーマで、例えば1時間半やるというのは、大変な時間だし、無駄になってしまうと思う。

全部のグループが、例えばテーマが今日は3つありますよ。この3つ、このグループもこっちもこっちも全部同じテーマで、3つ話し合おうという。

寺門委員 グループでやるということですね。

勝村委員 そういうことですよ。

委員長 今の勝村委員は、テーマを幾つか出して、それをみんな、決めてやるということですか。それとも1つのテーマを……

勝村委員 いや、テーマはいくつあってもいい。それを各テーブル同じテーマということで。

委員長 そうすると、ちょっと感じたのは、そのテーマを幾つにするかというのをきちんとは決めないと、まず住民の参加者がどのテーマにいるかっていうのを、ですから絞るべきだと思うんですよ。

ですからやる前に2つなら2つ、きちんとそのテーマについて、こういうテーマで話し合いますということを出さなきゃならないと思うんで、やはりそれは大体どの辺まで決めるかというのを確認はしておくべきだと思うんですよ。

やはり、3つ、4つってふえて、人数がどれだけ参加するかというのもわからないわけ



ですから、私はそれならば、まず最初に3つの班の委員会でやれば、教育厚生とか、産業建設とかそういうので幅広くやれば3つなら3つをやっていくのが、逆に専門分野と懇談する、市民が一緒になっていいのかなってちょっと感じたんですけど。

勝村委員のテーマをそういうふうにするのと、寺門委員が言った1つのテーマを前半、後半は自由討議。テーマが1つならば、このテーマで話し合いますということで決めて、その後についてはということで、あとは参加者の人数で割り当てをすとか、そういうやり方もいですが、その辺で、どう方向性をつくってあげるかっていうことだと思うんで、テーマはやはり、もういくつぐらいのテーマというのも決めておかないと、その時その時では大変かと思うんですよね。

先ほど副議長が言ったように、専門分野の中でやることによって、テーマも決めて、それにあわせて時間で動いてみれば、いろんな話も市民はできるかなっていうのも感じたんですけど。

副議長 この議員報告会が終わった後のことを今考えていたら、終わった後、今の流れではこういう報告会の後、こういう意見が出ましたよね、これを市に伝えますよね、これを少し調査しましょうねってのはやっぱり各常任委員会で議論するんですよね。

だから、各常任委員会で終わった後持ち帰りの議論があるから、それはやっぱりみんなと同じようなことを聞いたねっていうふうなスタンスにやっぱりしていかないと常任委員会で議論しづらいと思うんです。

だからグループを分けるとすれば、やっぱり常任委員の議員さんは皆まとまってグループに入っていないと、同じ議論ができないですよ、きつとね。

そうなる、やっぱり常任委員会、じゃ3つにするか4つにするかちょっとあれですけど、やっぱり思うのは、3つの常任委員会にそれぞれこのグループはそれぞれ議員さんはもう張りついていて、あとそこに市民を割り振る感じには少なくともしないと、その後、常任委員会での振り返りの議論はしづらかなっていう気はしました。今の委員長の話を聞いて。

勝村委員 確かにそうですね。

委員長 ですから、各常任委員会のメンバーはそのまま1グループで活動してもらおうということにしないとばらばらになってしまうと思います。

そうすると、会場とか何かによっても、ちょっと飛んでしましますが、グループ討論で何人来るか。今までは学校方式ですから、これでよかったんですけど、今度はグループ分けして座談会方式でやった場合には、何人来るかが読めない状況でやるとすると、やはり逆にコンパクトにして、会場を何か所かにすれば、その地域で少しずつでもいいのかなと思うんです。

参加者が今までは各地区でやってましたが、地区の中でも何名来るのかわからない中で、同じメンバーの方が2日続けて来ている方もいたので、そういうのもないようにするのに

は、ちょっと会場も分けてもいいかな、数をふやしてもいいかなというのもあったんで、まずそうするとテーマについては、1つにするか、幾つかのテーマを出すか、どれが一番いいですかね、初めてなので。

副委員長 今委員長から話があったんですが、例えば来る人の、来場者が何人かというのが一番不安ですよ。例えば3つに分けても、20人か、10人以下か、30人とか、わかりませんね。それで1班で出たのは、割り振っちゃおうって。例えば、副議長言ったように、3カ所ずっと30分なら30分で歩いてもらうと。

そうなれば、順番に来た人に割り振っちゃって、人数割で例えば、わかりやすく言えば21名だったらば、7人ずつを割り振って、それを30分ごとに歩いてもらえば、みんなバランスよく回れるんですよ。

だから常任委員会で偏っちゃうことなく、人数を3つに分けて、それを30分毎に回ってもらえるようにすれば、どの委員会も回れるし、人数によってどうなるかわかりませんが、そういう形にすれば、委員長の言うように会場を何カ所もやる必要もないと思うんですよ。今までのように2会場でもね。いろいろ案はあると思いますけど。

寺門委員 終わった後の各常任委員会別で意見をまとめて集約して、条例化するのか、執行部に意見を求める、改善を求めるっていうところまでやらなくてはいけないので、それを考えると別に3班、常任委員会ベースでこだわるっていうか、最終的には来てくれた方の人数でいかようにでも対応できるように、3つあるんで、同じ常任委員会を2つつくると。そういったことも考えておけばいいのかなっていう気はするんですよ。

同じ内容で話すわけですから、それぞれ常任委員会のメンバーも2グループになりますけれども、たくさん来た場合はね。そのほうがお互いに違った角度でも、6グループになると、6つもあるというのは難しいですけど、委員会の中が3つなら3つで回れますので、それは臨機応変にということ考えておけばいいのかなっていう気がするんですけどね。

やっぱりテーマは、私最初に1つと言ったのは、最初の段階で、取り組みやすいテーマがいいのかなっていうことで申しあげましたので、取り組みやすいテーマなら3つでも、それは幾つでもかまわないと思いますよ。消化できる内容であれば。

委員長 今寺門委員からは、先ほどは1つというテーマですけど、別にテーマが3つあっても、そうすると委員会でやったほうがいいということですか、各委員会の中で人数がふえた場合には、その委員会の中の委員が2班に分かれても。

勝村委員 こういうときの1つのグループって、何人くらいが一番いいんだろうかって考えると、10人くらいまででしょ。

寺門委員 30人以上来るかというのもあります。

勝村委員 それもある。30名くらいであれば、3つのグループでできるわけ。これ以上来ちゃうと、もう10人以上になったら、話していることが……いろんな話が出てくるっていうの

は、できるだけ狭い空間ね、狭い空間のほうがいろんな話が出てくる。余り大きくなっちゃうと、広過ぎて話が出てこなくなる。そういうこともあるよね。30人くらいの参加者というふうに思えば、3つのグループでもいいかなと思いますけど。

委員長 ではまとめさせていただきます。

皆さんの意見ということで、やはりグループ分けということでいくと、3つぐらい。ですから、今回各常任委員会方式で各常任委員会の中で3のテーマを出していただいて、その中で行うという形で進めていこうかと思えます。

ですから、今勝村委員から出たように、1班10名ぐらいという話です。

ふえた場合には、正副いますので、そういう中での対応もできますし、広報的にも皆さんにテーマを、こういう委員会でやりますのでってなれば、参加者もどれに行くかとか参加もしやすいと思いますので、あとは先ほどその中で、時間で多少を動かしてみても、来た方がほかの委員会も話したいという方があればそういう時間も設けるというやり方で進めていければと思いますので、まずテーマは、3つのテーマを各常任委員会に任せて行うという形でとっていきたいと思います。

それでよろしいですか。

各常任委員会でやりますから、教育厚生だったら教育福祉、産業建設だったら道路とか農業関係とかいう形の専門分野でのテーマになるかと思えますよね。

ですから、参加者が教育のほうに興味ある方であれば、そういうことで話し合いますというテーマをきちんと前もって広報しておかないといけないと思うんですけど。当日こういうテーマで話しますということではできないと思うんで。

勝村委員 あんまりテーマをいっぱい作らないで、来る方が全部聞きたいという人もいるわけでしょう。

委員長 そこは先ほど言った時間で、ですから、来た方を固定するんじゃないで、副議長が言ったように時間で、また次のところへ行って話も聞きたいという方もいると思うんで、やはりそういう形も一つ選択する方法かなと思うんです。

勝村委員 偏らないですか。それなら、議員のほうが回っていけばいいよね。議員が回る。

委員長 そのやり方は、その席はどっちでもいいですけど。

寺門委員 たくさんの市民の方と話はしたいでしょうから。

委員長 中には私は福祉が聞きたかったけど、道路は別にいいやっという人もいるかもしれないんで、そういう方もいると思うんで、それは市民の方が選んでいただくというやり方のほうがいいかと思うんで、そういう形でまず最初スタートしてみてもどうかと思います。

初めてなんで、ましてやこの議運のメンバーも変わりますから、その中で行うにはやはり少しやりやすい方向性を作ってあげて、まず初めには各委員会でやっていただくという形がいいかなと思いますので、そういう形で進めていきたいと。

次長補佐 最初は、番号札か何かを引いてもう決めちゃうってということですか。

委員長 委員会ですから、各委員会ごとにやるから、その委員会に行きたい方もいると思うんで、そちらで分けるほかない。

次長補佐 希望するグループに最初入るということですか。

寺門委員 番号でやったほうが。

委員長 最初に番号で。

副委員長 そうすると平均になりますね。それを副議長が言ったように回っていく。そういうやり方で。

委員長 逆に受付の中で。

寺門委員 希望だけだともう全然暇になっちゃう人もいるし。

副委員長 偏っちゃうよね。

副議長 どこに行っても平等なんですよ。まず最初に座る場所だけの設定なので、それは番号でもいいですよ。

委員長 じゃ、参加者については、受付のときにもう班の番号札を渡すと。きちんとその辺も説明をしていかないとならないですよ。その後ね。

じゃ、席を決めるということですね。

そうすると、テーマは先ほど言いましたように各委員会とか何かでテーマを出していただくということと、グループ分けの方法というのは、先ほど市民の方は受付で番号札を渡すということで、そのグループに入っていただくという形でよろしいですね。

議員のほうは、各委員会で3つなら3つの委員会のグループをつくと。

そうすると原子力委員会は、今回は抜くということで各常任委員会の中で一致でよろしいですね。

続きまして、グループごとの進行、記録、まとめということはそうするとその各常任委員会の中で決めていただくということでよろしいですよ。

そこまで①についてはよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 ②の議会報告、定例会の結果や各委員会の活動報告についてはどうしますか。今回は最初から座談会方式で入るとなると、それについては。

それとも1つ、2つ、一度報告をするという形で行いますか。

綿引委員 今のテーマの設定だったり、グループ分けそういうことでも、各常任委員会が固定して動かないで、市民の皆さんがぐるぐる回って、例えばこの常任委員会では、テーマを1本にするか2本にするかわかりませんが、いろんな意見を聞く。

とにかく市民から意見を聞くっていうことに今度は重点を置きましょうという方向だけは決まったわけだから、とにかく来てくれた市民の皆さんのテーマは絞るけども、このテーマに関してどういうご意見ですかというのを聞くわけだから、当然この議会報告の部分も、議会報告会だから、これをゼロにしちゃうというわけにもいかないけれども、少なく

ても報告よりも、意見交換の部分を大きくする、そっちにボリューム置くということは決まったんだから、あとは、この報告も各常任委員会に任せて、今回うちの常任委員会は、特に取り立てて報告することがないから、今配った資料で記載のとおりですでもう、5秒か10秒で終わりにしちゃう。

例えば、仮に総務生活常任委員会が空き家の問題について今回はちょっと説明したいというテーマがあるとすれば、ちょっと総務生活常任委員会は、今回こういうことを皆さんに特に説明したいというのがあれば、特記事項として委員長に説明していただくし、なければなくても、特になしでも、記載のとおりで済ましちゃうということでもいいんじゃないかな、前もってそれは3つの常任委員会の委員長さんが集まって、どうするという話があれば、じゃ、今回はそこが大事だから、〇〇委員会を中心にして、こちらは記載のとおりで終わりにしちゃおう。

そうするとじゃ何分で終わるなっていう予想もつくと思うんで、要するに、報告のほうも、各常任委員会に任せちゃうと。

委員長 今綿引委員からは、議会報告ということで大まかな流れというのもう皆さん知ってるだろうから、各常任委員会での協議、審議内容等でちょっとまとめていただいて、そこで班のときに話していただくと。そういう形ではどうかということですよ。それで懇談を中心にするという流れでいく。

勝村委員 ということは、この参加者全体、全体の人には聞けないよね。全体のね、3常任委員会あるわけだから、資料だけ渡せばいいかもしれないけど。声で話をするっていうことはなくなっちゃうよね。

(複数の発言あり)

勝村委員 それはそのこのグループだけの報告でしょ。全体の報告は。

綿引委員 報告のほうは最初にやって、あとから、グループに分けて、意見交換の時間というふうにしたほうが。

勝村委員 そこを確認したかったの。了解です。

委員長 ですから、最初からグループはつくっておいて、今までみたいに前に座って議員が一人一人委員長が報告するんじゃなくて、その席で委員長が報告するっていう形ってやればいいということですよ、そうするとね。

違うの。

木野委員 最初は座っていますけど、別枠にして。

綿引委員 最初はグループ分けしないで……

委員長 そのテーブルを移動する時間とかいろいろあるんですよ。

木野委員 席についていてもらってやるしかない。

副委員長 その席上でやっちゃえばいい。

委員長 だから一番いいのは、その席で委員会の委員長が全体で。

綿引委員 グループはもう分けといて、最初の報告だけは、例えば前に議員が全部座って、各常任委員長がやれば。

委員長 それでやると時間が、やはりテーブルを用意したりという形になってしまうんでって  
いうことで、そうじゃなくてグループの中で、10人なら10人のテーブルありますよね。そこに正副委員長が座るわけですから、そこの正副委員長がそこで、その席でそこで全部報告すれば、それはマイク使えば、勝村委員が言った、その委員会だけじゃなくて、全体で皆さん、その資料は見ながら、できるでしょうっていうことでやればいいんじゃないかということですよ。

副委員長 各常任委員会がね。その席でやれば、テーブル用意することないでしょう。それで始まれば、時間短縮になりますよね。

寺門委員 報告会は議長挨拶は当然あると思いますので、あと議運のほうで全体の議会に対する報告を手短に報告して、そのあと今言った各委員会ごとの報告ということで、手短にやっていたらいいのかなというふうに思います。時間にすれば15分とかぐらいで全部終わりにする。そのほうがいいと思います。

副議長 まず一回全部割り振って、席につきますよね。最初は議長のご挨拶とか議運の委員長のこういうご説明とご挨拶がありますよね。

それもそれぞれの自席ですね。あとそこからもう各常任委員会のグループお任せなんですけど、ただ、何となくワールドカフェのスタンスをちょっと考えてみたら、私のイメージではっきりしなかったんだけど、こうなんじゃないかな。

グループ10人ぐらいで割り振るじゃないですか、時間ごとに半分ぐらいずつ交代していくというのが本来のワールドカフェなんですけど、それをやると、ちょっと重複したりごちゃごちゃになったりするんで、例えば、最初に割り振ったこの10人は、時間ごとに全部10人ごとにごそっと動く。こっちも10人でごそっと動く。

こっちの10人も動けば、そういうふうなスタンスにすると、最初の10人に対しては常任委員長さんが一、二分、常任委員会の直近のご報告をした上で、じゃここは教育厚生なんです、子育て支援について、今いる皆さんから、これからご意見をいただきます。

ただ、子育て支援に関しては、教育厚生としてはこういうふうなことを今調査しているとか、やってますってその話をしてもらおうテーマについて、今、市がどういうことやってるかとか、議会の教育厚生がどうやっているかっていうのをちょっと二、三分ご説明をした上で、今こうなってるんですが、皆さんご意見どうですかってそのテーマについてのご説明をちょっとしなきゃいけないような気がします。

いきなりさあ子育てです、どうぞどうぞっていうよりも、今こうなっています、議会として、委員会としてこうなってるんですよ。じゃ、どうでしょうかってのやってもらおう。

産業建設もテーブルについたら、産業建設の構成はこうで、一、二分しゃべって、農業のあり方についてということでやっぱり三、四分ご報告をして、そこからいろいろ意見を

もらうということで、それぞれのテーブルについて話を始める前には、5分ぐらいはやっぱり今の委員会の報告と、そのテーマについてのご説明をした上で、あと残りの25分。全部30分、30分、30分でトータルやるとすれば。

だから1回ぐるぐる変わったたびに各常任委員長さんは5分ぐらいは、委員会の説明とテーマについての何かをやってから意見をもらうようにしないとうまくいかないかなと。そういう感じでやればうまくいくような。

だから3回は常任委員長さんちょっと報告は簡単にした上で、それについてのご意見を3回もらうような運営をすればいいんじゃないかなと思うんですけど、どうですかね。

委員長 説明するのが一番いいですよ、そうじゃないと次来たグループの方は何が何だかわからなくなりますし、あとはそのグループの移動も10人なら10人がどっと移動していったほうが、幅広く全員がいろんな話をできるということで、いいと思いますよね。

綿引委員 時間を区切って全とっかえということですね。

委員長 事務局もどうぞ。意見言ってください。

次長補佐 確認なんですけど、班のメンバーが全員変わるってことですよ。丸ごと、その最初のセットがそのまま全部ってことですね。そしたら議員さんが動いたほうがいいのかと思っちゃったんですけど。

勝村委員 それはそうだよ。

委員長 そしたら市民を中心にすれば、議員が動いたほうがいいですよ。

次長補佐 途中で半分が入れ替わるとかであれば、議員さんはそこにずっといてもらって、市民の方が動いたほうがいいと思うんですけど。

委員長 じゃあ戻して、その時は議員が動くよ。

副委員長 市民目線で言えばそのほうがいいですよ。

副議長 今度はこちらのグループにおじゃましますということですね。

委員長 教育厚生とか産業建設委員会の札を持って、こちらに行きますということでやらないとね。そういう形で。それは、次の方がやるときにそういうことを伝えていただくということ。

あと今回、やはり今までのように1時間、1時間じゃなくて、座談会方式を中心とするということですから、報告は短めに、先ほど綿引委員からも話が出たように、短めにして、逆に3つ動くとなると、やはり結構時間もかかりますから、そういう形でそっちを中心にやるという流れで、これから進めるということで、よろしいですか。

次長補佐 ちょっと確認ですが、最初の議長の挨拶と議運の説明、それだけが全体で、あとは各議員さんの紹介とかもその班ごとでよろしいということで、もうそこからは班単位で。

委員長 1人司会者かだれかがいて、進めるときに話して、いないとだめですよ。

次はグループの委員長さんからといってその議員の紹介と、あとその流れを言って次やっていないと。

そのあとの進行は、やってもらって。それまでの司会は必要ですよ。司会的なのは議運がやるということで。総合司会は。

そういう形で議会報告についてはそのように進めさせていただきます。

続きまして③の報告会のネーミングについて、いろいろ先ほど、議員と語る会、議員と一緒に市政を考える会、やはり議員と語る会、議員トークカフェ、議員と語っぺとか、いろいろあります。

これについてはどうですか。1班から。

勝村委員 1班からっていうんじゃないで、これ、1から3班見ると、議員と語ろう会、議員と語る会とか、やっぱり議員とってというのが、全部あるんだよね。議員と語る会とか議員と語ろう会、やっぱりこれなのかなというふうに考えたのね。3班とも同じのが出てるといことは。

委員長 今勝村委員からは、1班、2班、3班、やはり議員と語ろう会、語る会とか、そういうネーミングが多いということなんですけど、そういう形で議員と話をするという、身近に感じるような雰囲気をつくることでもあるかなと思うんで、そういう形でもいいですし、先日ちょっと調べた中では、守谷では、出前議員懇談会とか、そういう形でやっていますが、ちょっと固くなっちゃうかなと思って、やはり議員と語る、話ができるよというイメージをつくるのに、そういう形もいいかなと思います。

その辺で皆さんの意見がよければ、このネーミングで。

語る会、語ろう会、どっちがいいですか。

(複数の発言あり)

委員長 「議員と語る会」でよろしいですか、一応ネーミングは。

(複数の発言あり)

委員長 語ろう会のほうが柔らかいかな。

じゃ、ちょっと訂正させていただいて、語ろう会ね。語るじゃなくて。

「議員と語ろう会」ということで、そのネーミングで進めていきたいと思います。

続きまして開催時期、時間、会場について皆さんのご意見を伺いたいと思います。

まず1班から。

勝村委員 1班のほうは、10月がいいんじゃないかと。9月の定例会終わってから。

この時期になるとまちカフェか産業祭をやっているんで、それにドッキングしてもいいんじゃないかと。産業祭であればかなりの人数が来るんで、その中でやってもいいんじゃないかっていうのが出ましたが、これは難しい。

さっき言ったように3つぐらいのグループに分けるとなると、今度は来場者が多くなりすぎちゃうと思う。

ただ、ここんどこ見てて、もともとは、要するに来場者が少なくなってきたということからまず始まる。それともう一つは、参加者がいつも同じ人ばかりだということ



なんで、少し変えようということが基本であるということから、こういう産業祭とかまちカフェとのドッキングということも考えたんですけど、ただ、これをこんなふうに変えていくと、やっぱり珍しいからまた参加者がふえるかなっていう気もするんですよね。だからこういうイベントとタイアップする必要もないんじゃないかなっていう気もします。

委員長 時期は10月ごろでよろしいですね。

会場についてはそうすると、産業祭とかまちカフェとか、そういう時期に合わせてという話もあったんですけど、ちょっとそれについては別に、会場については今までどおりコミセンとか、そういう形でよろしいですか。

勝村委員 そうですね。

委員長 2班よろしいですか。

寺門委員 2班は前回の話し合いでは、時期は5月の下旬、土曜日の午前か土曜の夜と。これは2部制にしてもいいのかなと。同じ日じゃなくても翌週とか。

このときは同じテーマで、例えば今週の土曜の午前、2部でやったり1週ごとにあけてやったりとかいうことで想定をしたんですけども、今日の話し合いだとちょっとそれは難しいのかなということになるので、時期的には、5月下旬でも大丈夫だろうと思うんですけど、あとはその土曜日の午前、土曜日の夜、どうしても子育て支援なんか、ママさんたちの参加を求めるのであればやっぱり土曜日の夜がいいでしょうということなので、この2つが挙がってきました。

あと場所については、3グループでワールドカフェ方式でやるということになると、集会場とかコミセンは大丈夫だと思いますけれど、あと図書館はちょっと難しいかな。

以上、この間の話はそういうことが出たんですけども、コミセンということがいいでしょうということですね。

以上です。

委員長 2班については5月下旬で土曜日の夜ということで、子育て世代、若い世代も入れると夜あたりがよろしいかということと、会場についてはコミセン、集会場等で人が集まれる場所ということですね。

午前と夜でもよろしいかということですね。

では3班お願いします。

木野委員 3班は各委員会ということだったので、こういう状況で年二、三回っていう話でしたけど、でも、各委員会ごとになったので、その辺は大丈夫です。

ただ、イベントっていうのは、要するにひまわりフェスティバル、今までは何か議会の何かそういうブースがあったんですかね。それが今はなくなって、やっぱりそういうときに来たときにも見てもらってもいいんじゃないかって、パネル展示だけでもいいから、あれば少し違うのかなっていう、やっぱりそのコミセンでやるのも大事なんですけども、そういったときに議会のブースをつくってもらってやったほうがいいんじゃないかってい

う案も出ました。

ですからその委員会ごとというのがあったので、場所と日時は対象者に合わせてっていうことなものですから、それはまた、かなり変わってきてますので、ただそのイベントのひまわりフェスティバルあたりで、そういうPRもしてもいいんじゃないかという話がありました。

委員長 3班についてはそうすると、開催時期っていうのは、その流れでよろしいということで、ただ今回そのイベント等で、先ほどのまちカフェとか産業祭とかひまわりフェスティバル、そういう中で一つぐらいは議会が広報的にその紹介をしてはどうかっていうブースを設けてはどうかという話が出たということですよ。

ですからどんどん市民のほうに議会もPRしていこうという話で、そこで報告会じゃなくて活動を報告しようというようなブースを設けてはという意見ですよ。

ではそうすると、時期的には10月、9月の定例会終了後の10月ごろと、あとは今まで行っていた5月下旬あたりの日程ではどうかということですね。

それをまず決めたいと思いますけど、どちらがよろしいですか。

どちらもやってみたんですよ、5月と10月と。

今度はちょっとやり方が変わるので、また雰囲気的にも変わってくると思うんですけど。

木野委員 そうなるとこの新しい体制で5月っていうのは、ちょっと今回は厳しいんじゃないかなっていうのがあると思うんですね。次回メンバーが変わってしまうので。できれば今回に関しては10月がいいんじゃないかと思います。

委員長 時間の余裕を見て10月ごろと。そういう意見が出ましたけどどうですか。

副委員長 時間を取ったほうがいいでしょう。テーマの設定もね。

委員長 この日で決定ということではなくて、一応10月頃予定ということで、あとは次の議運の方にもんでもらうと。ですから、余りこう決めずに、こういう形で進めていただきたいということでの一応10月ごろ。

全部が全部こっちで決めるより、そのころの予定を見てくださいということと、あとは案として出てるのは、会場についてはやはり今までどおりコミセン、あと時間は、午前と夜という意見と。一応時間についても、土曜日の午前とか夜とかそういうので出てますよってことはちゃんと伝えてね。

副議長 図書館もお貸しできますよという話を聞いておまして、結構やっぱり改めて図書館行くと、たくさんいらっしゃるんですよ。

だから今までコミセンというのは、わざわざ報告会に足を運ぶ方しかあれだったんですけど、図書館だとすると今日やってるんだみたいなことで、結構何十人も何百人もっているか、結構いらっしゃるので、そこでもこのゲットできる可能性があるかなと思うんですよ。図書館はいけるかなっていう感じがします。

委員長 夜は難しいですよ。

事務局長 図書館の開館時間なんですけど、コミセンよりはちょっと早目に終わりますので、夜のときはちょっと気をつけていただいて。

副議長 夜は7時までで終わってしまいますので、夜は無理です。

だから午前中とか、日中であれば、いけるかなっていう感じがしますね。

委員長 じゃ図書館についてもちょっとその辺も次の議運の方にそういう形で。

あと先ほど3班から出た、木野委員からも出たイベント等でのPR、それについては必要かと思うんで、こういうことについても、検討していただきたいということで要望しておきます。

せっかくイベントの時、議員さん皆さん来てるんですけど、前は金魚すくいなんかやってたんですけど、今はなくなったんで、議員がたくさん来てたんですけど、来ててもいる場所もないんで、やっぱりどこかにそういうブースを設けて、ちょっといるだけでも違うかなと。

副議長 おっしゃるとおりで、金魚すくいをやってたんですけど、どっちかというとなんか議会ですよということで、広聴という意味では市政相談会とかね。そういうのを、どれだけ来るかわかりませんが、そういうスタンスを示しておくのが大事かなと思うんですよ。

幾らでもこの会場に、議員今ここにいますから、幾らでも聞かせてくださいっていうのと、せっかくでしたら広報誌なども置いたり、議会のいろんなPRを置いたりということで、広聴と広報を生かして、幾らでも皆さんのわきに、そばにいますよってのはやっぱりPRしたほうがいいですよ。

委員長 それも今後の活動の中で、ひとつ入れていただければということで要望させていただきます。

では、ちょっと休憩を抜いて進めてさせていただきますけどよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 続きまして⑤報告会の実施主体について、報告会の企画、準備、広報、運営、報告についてということなんですけど、これについてももう一度1班からよろしく願いいたします。

勝村委員 1班のほうは、2つ出たんですけど、各委員会で役割分担して行くと。これは先ほどからグループは各委員会ごとでやるということなので、このままでいいかとは思いますが、または広報広聴委員会、今の広報委員会を広報広聴委員会というようにしてはどうかというような話も出ました。

広聴ね。広報広聴委員会にしてはどうかというような話も出まして、もしそうなれば、広報広聴委員会がこれを担当するというようなこと、広報広聴委員会だけではなくて、議運とタイアップしてやるとか、そういうこともできるんじゃないかということでした。

以上です。

委員長 この進め方については各委員会が中心ということですから、そこで役割を決めていただくということと、今後運営については議運と広報だけではなく広報広聴ということでネ

ーミングを変えながらそこで一体となって活動していただければということですね。

続きまして2班お願いいたします。

寺門委員 2班も同じく実施主体は議運でやったほうがいいでしょうということで、ただし広報委員会を、今広報紙についても、双方向ということで紙面も改革をされてきておりますので、これからまさにその双方向性が重要であるということなので、市民のご意見を聞くという部分を前面に出した、広聴広報委員会。広報広聴じゃなくて、広聴を重視した委員会であるべきであろうということで、検討していく時期ではないのかなという意見なので、広聴広報委員会では今後については運営をしていくということでございます。

以上です。

委員長 やはり2班も、議運が中心ですけどもその中に広報じゃなくて、広聴広報ということで、広聴のほうを中心に、強くということでそういう委員会も一緒になって行ってはということなんです。

続きまして3班お願いします。

木野委員 3班も同じで、各委員会で役割を分担して準備を行って、やっぱり広報広聴ですね。

あったほうがいいんじゃないかっていう意見がほとんどでした。

委員長 やはり3班も同じような話ですので、そうすると、今後、報告会の実施主体は議運と広報広聴、広聴広報、そちらの2つで中心になっていただければということでの運営の仕方ということでよろしいですか。

名前は局長そうすると、今後広報委員会も広聴広報委員会とか、そちらで変えるべきですかね。

事務局長 一応これを変えるに当たっては、当然広報のほうは要綱ですので簡単に変えられるんですが、会議規則を変えなくちゃならない。会議規則を変えるとになると、当然これは議決をしなくてはならないということもありますので、ぱっと変えることはちょっと難しいです。

委員長 じゃそれについては、今後の議運の中でちょっと検討していただいて、やるべきですよ、そうなるよね。ここで決めようということではなく、そういう流れできていますということで、検討してくださいということで要望させてもらうという流れになるかと思うんですよ。そういう形でよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 では議運が中心やるけれども、広報についてはネーミング等もあるんで、今後の課題ということで検討していただくという形で進めさせていただきます。

①から⑤まで皆さんのご意見が終わりましたので、その内容等について、もう一度確認させていただきます。

市民との意見交換については、座談会方式ですけども、これはワールドカフェ的なもので、各常任委員会、3つの委員会が中心となって行うということで進めていこうと思いま

す。

その中でテーマについては、各常任委員会での今課題となっているもの等について中心に話し合っていたと、このグループ分けということについては受付のときに、市民には番号札を渡してそこについていただくと、時間の中で、移動していただきながら、委員会が移動するという形で、班のほうに移動する。

もし班がふえた場合については、その委員会で2班に分けるなりして、一応30名ということで想定をして班編成をしていきたいということで進めていきます。

グループごとの進行・記録・まとめについては各常任委員会の中で進めていただくということで。

②の議会報告については、今回は3つの委員会が中心となりますので、その委員会での報告等を行い、総合的には司会が入って流れを説明させていただくという形でいきたいと思っております。

③の報告会のネーミングについては「議員と語ろう会」というネーミングで柔らかみというか、市民が身近に感じていただくようなネーミングということで、これに決定をさせていただきました。

④の開催時期については、一応10月ごろということで、次の議運の方たちにお願ひする。

あとは初めての試みですので、多少時間の余裕を持って皆さんで協議していただくという中で、10月ごろ予定させていただくということで、時間等については、一応こちらの希望では土曜の午前、夜という意見もありますし、会場によっては昼のみということになりますので、その点については、今後の議運にお任せするという形になるかと思っております。

⑤の報告会の実施主体についても、今までどおり議運を中心に行いますけれども、その中には、広報委員会についてネーミングを変えて、広聴広報委員会という形にできればそのような形で、2つの委員会で報告会を実施主体として行っていただければということで、今後についてこのネーミング等もありますので、これは次期の議運にお任せするという流れで進めていきたいと思っております。

そのように決定でよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 それではそのように決定をいたします。

決定事項につきましては、来週の全員協議会で議員各位にお知らせしたいと思います。

本日は皆さん、連日続いてお疲れのところと思いますが、ご苦労さまでした。

以上で議会運営委員会を閉会といたします。お疲れさまでした。

閉会 (午前11時18分)

平成30年4月16日

那珂市議会 議会運営委員会委員長 君嶋 寿男